

校長室の窓から

尼崎市立武庫東中学校 NO.16

平成23年12月22日

校長 小谷 豪 郎

1年を振り返って

さあ皆さん、期末懇談はいかがでしたか。成績は思ったように伸びていましたか。今年の冬休みは、例年よりも5日間長くなります。4月からの生活を振り返り、期末懇談会で、先生や保護者の皆さんと話し合った内容を思い出しながら、有意義な時間を過ごしてください。

一年生の皆さん、初めての英語はどうか。数学はどうか。少々理解に苦しむなあ・・・ということがあればこの冬休み中にしっかり復習をして、3学期につなげていきましょう。

二年生の皆さん、クラブ活動や学校行事に中心になって活躍できましたか。今回新しく生徒会執行部に当選したみんなは、この学校の生徒会の活動を盛り上げる大切なポジションにあります。頑張ってください。また、最高学年に向けて進路のことを保護者の皆さんとゆっくり話し合う時間を設けてください。

三年生の皆さん、進路は決定しましたか。自分で自信を持って進路決定できましたか。すでに合格を決めている人も数名います。年が明けたら2月の私立入試、公立推薦入試、特色選抜、3月の公立一般というように一気に進んでいきます。楽しいことがたくさん待っている冬休みですが、最後の努力を忘れず計画的に過ごしてください。そして、3月9日(土)の卒業式には自信を持って胸を張って卒業していけるようにしましょう。



冬休みの風物詩

クリスマス



本来はキリストが誕生したことをお祝いする日です。クリスマスツリーにクリスマスケーキ、日本では七面鳥はあまり食べないので、フライドチキンを代用にしている家庭が多いとか。欧米では、クリスマスは暖かい家庭で家族全員がそろって一緒の時間を過ごす、家族で過ごす日のようですが、日本では最近恋人同士や夫婦で特別な日として外で食事をしたりする人が増えているそうです。基本に戻って一家団欒の時間を大切にしてみませんか。

大掃除：1年間を振り返る意味も込めて身の回りの整理をしましょう。使い古した物には感謝して新しい物と交換するなど、清々しい気持ちで新年を迎える準備をしましょう。自分の部屋や机だけでなく家の中の片付けも手伝いましょう。ひょっとして懐かしい物や貴重な物が見つかるかもしれませんよ。



大晦日^{みそか}：毎月の最後の日を晦日といいます。そして1年の最後の特別な末日のことを大晦日と呼びます。大晦日といえば、紅白歌合戦、格闘技、バラエティー、年越しライブ等々テレビも盛りだくさんでついつい夜更かししてしましますが、この日だけは特別ですね。

除夜の鐘：大晦日の夜更けから全国のお寺で108回の鐘が鳴らされます。108とは仏教思想に基づく百八煩惱を意味しています。煩惱とは「心を惑わし、身を悩ませる」ものを言い、鐘をつくことでこれらの煩惱を1つ1つ取り除いて、清らかな心で正月を迎えようというわけです。また、108回のうち、最後の1回は年が明けてから突きます。これは、今年1年煩惱に惑わされないようにという意味が込められているそうです。



年越しそば：大晦日にそばを食べる風習は、江戸時代中期頃にはじまりました。「そばのように細く長く生きて寿命を全うし、家運が末永く続くように」「切れやすいそばのようにさっぱりと一年の苦労や災いと縁を切ろう」との願いを込めて、一年の最後の日にはそばを食べるようになったそうです。

元日：「元日」は1月1日のこと、そして「元旦」というのは1月1日の朝のことです。「元」という字には「一番初め」という意味があり「旦」という字には「あした(朝)」「夜明け」という意味があります。古来から行われてきた元日の風習は、現在でも受け継がれています。今でも歳神様をお迎えるために門松を門の前に飾ったり、鏡餅を備えたり、前日に準備したおせち料理を食べたりしています。また、子どもは親や親戚からお年玉をもらいます。



お雑煮：関西地方では丸餅、東京（江戸）周辺は角餅を使う傾向があります。



汁の味付けについても、関西地方のお雑煮は白味噌仕立てです。東日本と近畿を除く西日本では、圧倒的にすまし汁仕立てです。

ちなみに、先生の家では田舎が鳥取なので小豆です。要するに正月はぜんざいを食べるのです。

体調に気をつけて、1月10日の始業式には元気に登校してきてください。